

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2026 No. 78

inaokigakuen news letter



巻頭

2026年度 新年度あいさつ

星稜教職員バトンメッセージ

特集

世界で活躍できるサッカー選手を発掘 スペインの国際育成プログラム合宿に招集

星稜アレコレ

星稜Pick up

星稜トピック

総合研究所・SDGs産学地域連携センターだより

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!



回答者に抽選でQUOカードをプレゼント

2026年度 新年度あいさつ



この4月、稲置学園に新たに1,550名の園児・生徒・学生・院生が入学しました。入学された園児・生徒・学生・院生の皆さんは、新たな学習環境に身を置いて、自らが進むべき道に向って第一歩を踏み、緊張感とともに未来への希望にあふれているかと思えます。また保護者の皆様は、お子様たちが新しい環境になじめるのか、良き友人に恵まれて楽しい学校生活を送ることができるのかと、不安と期待に心揺れておられることと存じます。私たち教職員一同は、保護者の皆様とともに、お子様たちが、卒業・卒園の日まで、心身の成長と安全を見守り、各設置校の教育や学習支援活動を通じて誠実に社会に役立つ人間の育成に全力でその責務を果たしてまいります。

さて、学園では、この4月から金沢星稜大学において新たな学長を迎え、新体制のもとでの運営を担ってまいります。今年度も、教職員の皆さんのご努力により学生定員を上回る入学者を迎えることができました。2年前から取り組んでまいりました国からの補助金を活用した理系の学部学科の創設の検討作業は、結果として成果を出すことはできませんでした。しかしながら、当該作業と並行して行ってまいりました既存の学部学科の改革改善の作業は着々と進められており、本学を志望する高校生の期待に応える教育内容の改善に繋がることを期待しております。また金沢星稜大学は、この度北陸先端科学技術大学院大学との間に教育研究活動での相互交流や推薦入学に関する包括協定を締結しました。推薦入学においては、入学前に北陸先端大が、本学に在籍する学生の3週間程度のインターン参加を受入れることで学生の進路選択のハードルを下げ、本学学生が卒業後に経済学や社会科学の知識を持ちながら、AIなどの知識科学を身に付けた高度専門職業人となる道筋をつけることができるようになりました。金沢星稜大学女子短期大学部は、全国的な短大への志願者減少の影響を受け入学者は募集定員には届かなかったものの、就職希望者の就職率は100%、公務員就職希望者も合格率100%となり、地域経済を支える人材を着実に輩出しています。

星稜中学では、昨年度の入試において初めて東京会場での入試を実施し、本校の中高一貫教育を全国に発信する一歩を踏み出しました。また昨年度、稲置学園と国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学との間で、教育・研究の多様な分野における学術交流や人材育成に関して包括的な連携と協力関係を築くことができました。この協定により、金沢星稜大学とともに北陸先端科学技術大学とも星稜高校における高大連携による教育・研究の一層の充実を図ることができ、星稜高校の生徒にとって将来の理系の選択肢を広げることができ、文理を融合した学問分野に生徒たちの興味・関心をさらに広げることができると期待しております。

星稜幼稚園と星稜泉野幼稚園では、少子化の下で、両者連携して、次の新星稜幼稚園構想に向けて、新たな教育理念の構築や優れた園児の教育・保育の在り方の検討、そして、それを実践する人材の養成の取り組みを始めています。

最後となりますが、能登半島地震や奥能登豪雨によって被災した地域の復興は未だ途上であり石川県民としてこの被害のことを長く心に刻み、自分たちができる支援を続けていくことが大切であると胆に銘じています。今年度も皆様には、稲置学園の教育研究活動の実践とともに被災地に対して行う支援活動を、しっかりと見守っていただきたいと思います。



星稜泉野幼稚園
保育教諭
新江 さくら

実習時に 「ここで働きたい」と実感

私は保育教諭として4年目で、星稜幼稚園に勤めたのち、昨年度から泉野幼稚園に異動となり、現在全クラスの子どもたちと関わるフリーとして務めています。

保育教諭を志したのは高校生の時です。いとこの子が生まれ、その子と接することが大変楽しくて、これを仕事にしたいと思い、金沢星稜大学人間科学部子ども学科に進学しました。学生時代に実習でうかがった園の先生方の親切さ、そして園全体のやさしい雰囲気、そしてやはり保育教諭という仕事を絶対に叶えたいと改めて思いました。まだまだ慣れないことも多く周囲の先生方に助けられることも多くありますが、ここで働けて良かったと実感しています。

園児の「やりたい」を尊重する

私が日々心掛けていることは「明日も幼稚園に来たい」と思ってもらえるよう、園児と楽しく接することです。また、園児の「やってみたい」という気持ちを大切に、過度な手助けは控えています。もちろんそれで失敗することもあります。私も大切な経験だと思っています。私たち保育教諭は、その好奇心を

園児が「明日も来たい」と 思ってくれる保育を。



後押しする存在でありたいと思います。

また「過度に子ども扱いしない」ことにも気をつけています。正しい言葉でしっかりと伝えるなど、一人の人間として接するようにしています。そして園児同士がちゃんとコミュニケーションがとれるように、足りない部分を私たち保育教諭がフォローしています。

泉野幼稚園ではまだ2年目ですが、いろいろな思い出があります。その中の一つ、とっても慎重派な園児さんのことです。入園してすぐは保育室の中にもなかなか入れず、靴下を脱ぐこともできませんでした。家庭とは大きく異なり、大勢いる子どもたち、そして大好きなお母さんと離れることが不安で、その中で様々な葛藤があったと思います。周囲の先生方と「どうしたら安心して過ごせるようになるだろう」と何度も話し合い、色々な工夫をしながら関わってきました。何もしてくれなかったその子が給食のおにぎりを「パクッ」

と大きな口を開いて食べてくれた時は本当にうれしい気持ちで胸がいっぱいになりました。小さな体でたくさん葛藤を乗り越え、私たち保育教諭を信頼してくれたあの瞬間に立ち会えて本当に幸せでした。これからも子ども一人ひとりに寄り添い温かい保育ができるように頑張っていきたいと強く思います。

今年度はフリーという立場なので、いろいろな学年の子どもたちと関わり、私自身も様々な経験を通して、保育教諭として成長していきたいです。これからも子どもたちに寄り添い素晴らしい思い出と一緒に育みながら、幼稚園に来ることが楽しみになるよう、丁寧に親しみある保育を続けていきたいと思っています。



世界で活躍できるサッカー選手を発掘 スペインの国際育成プログラム合宿に招集



星稜中学校サッカー部 キャプテン
今崎 琉輝亜 (3年)

スペインのサッカー1部リーグ「ラ・リーガ」とスポーツゲーム開発の「EA SPORTS」が企画した有望な若手サッカー選手を発掘するプログラム「NEXT GEN DRAFTS (ネクスト・ジェン・ドラフト)」のセレクションに挑み、見事合格。5月下旬から約10日間、スペインで行われる合宿に参加する今崎琉輝亜さんにインタビューしました。

3月、神奈川県川崎市で行われた若手のサッカー選手を育成する国際プログラム「NEXT GEN DRAFTS」のセレクションには、2011〜12年生まれの168人が参加し、男女各4人の狭き門を突破されました。セレクションを振り返ってみていかがでしたか。

参加者は全国から来ていたのでレベルは高かったです。自分なりにやれたと思っていました。セレクションは2日間で3次まで行われ、試合やトレーニングを通じた技術力、戦術の理解力、適応力などがラ・リーガのコーチ陣にもチェックされました。まず1日目で25人に絞られ、2次のセレクションに残った16人でチームを結成し、他のチームと試合をして最終的に男女4人ずつが選ばれました。正直、手こたえはあったものの、名前が呼ばれた時はほんとに嬉しかったです(笑)。スペインの合宿は、渡航費や宿泊費なども全額支援され、日本の選手が招待されるのは初めてとなるので楽しみです。

サッカーを始めたきっかけを教えてください。

父が高校時代、サッカーをしていて全国高校

サッカー選手権に出場したことがあり、サッカーを教えてもらったり、一緒にテレビでサッカーの試合を観戦したりする中で、父に憧れてサッカーがどんどん好きになっていきました。小学1年生からツエーゲン金沢のスクールに入れてもらったものの、自分は練習メニューが物足りず、小学2年生から地元的美川FCジュニアにお世話になりました。厳しい監督の指導のおかげで、少人数のチームながらも小学5年生の時にはフットサルで全国大会に出場し、小学6年生の時は石川県でベスト4まで勝ち上がることができました。みんなでボールをつないでゴールを決め、試合で勝つことの楽しさを教えてもらいました。今から振り返ってみても、小学生の時にメンタルが鍛えられたことが一番大きかったと思っています。

星稜中学校に進学した決め手は何ですか。

クラブチームからの誘いもありましたが、レベルの高い中高一貫校で、素晴らしい環境で毎日練習できることが一番の理由です。実際、高校生も同じグラウンドで練習しているので見て学ぶことや刺激を受けることもたくさんあります。



一問一答でわかる! 今崎さんの素顔

Q1:身長、体重は?

身長は166センチ、体重は55キロです。

Q2:50メートルは 何秒で走りますか。

最近、計測したら6.89秒でした。

Q3:好きなもの(こと)は?

母が作ってくれるものは何でも好きです。一番のお気に入りはおムレットです。あと、寝ることが好きなので、休みの日はよく寝ています。

Q4:好きな教科と 嫌いな教科は?

体育が大好きです。苦手な教科は数学です。

Q5:好きな言葉は?

「不撓不屈」です。どんな困難にも負けない、折れない心を大事にしています。

5月下旬にはスペイン・マドリッドで合宿もありますが、自分のどんなところをアピールしたいですか。

最後に今後の目標を教えてください。

とにか練習から自分が声でもプレーでもチームを全力で引っ張り、盛り上げています。中学1年生から全国中学校サッカー大会でベンチ入りし、昨年は同大会でずっと使ってもらっていたのに北海道代表の札幌大谷中学校に0対1で敗れてしまい、チームは結局ベスト16止まりでした。課題となった得点力と、コートからも指摘されている気持ちの切り替えを意識しながら全員で練習に取り組んでいます。個人的には朝の自主練や全体練習後にジムで筋トレなどを行い誰が相手でも当たり負けしないようフィジカルも鍛えています。今年チーム全員が全国優勝を目標としています。2011年以来となる2度目の全国優勝を成し遂げたいと思っています。

積極的にコミュニケーションを取りながらサッカー以外でも食欲にいろいろなことを学んで、チームに持ち帰ってきたいと思っています。

6月にはアメリカやカナダ、メキシコの共催となるサッカーワールドカップが行われますが、注目している選手はいますか。

イングランド・プレミアリーグのマンチェスター・シティで活躍しているポルトガル代表ミッドフィルダーのベルナルド・シウバがずっと憧れの選手です。華奢な体なのに研ぎ澄まされた技術と勝負どころで決め切るところがすごいです。日本代表では、スペイン1部リーグのレアル・ソシエダでプレーしている久保建英選手に注目しています。久保選手は、自分と同じミッドフィルダーで、効き足も同じ左なので、ドリブルやシュートなど足の運び方や体のバランスの取り方など細かくチェックしています。

★サークルリーダー研修を 開催しました

2月26日(木)、サークルリーダー研修を開催し、クラブ・サークルの代表者が参加しました。
最初に山本輝太郎准教授によるネットリテラシーに関する講義を受講しました。続いて、学友会執行部から4月に行う新入生歓迎祭と学友会学校行事についての説明、事務局から各種説明があり、来年度の新体制に向けた調整や連絡等が行われました。



★国際大会・全国大会出場!

トランポリンワールドカップ アルクマール大会
澤田 守杏(スポーツ学科2年次)
※これは当時の学年です

★出張パパママ銭湯 in 和倉温泉

3月15日(日)、パパママ銭湯応援隊の学生10名が、七尾市・和倉温泉総湯にて「出張パパママ銭湯」を実施しました。本企画は、未就学児を育てる保護者の入浴をサポートする取り組みです。

当日は、学生が子どもの着替え補助や託児を担当し、保護者が安心して入浴できる環境を提供しました。事前に市内17施設・約800世帯へ周知を行った結果、約20世帯(保護者40名、子ども30名)が来場し、会場は大いに賑わいました。アンケートでも高い満足度が得られ、子育て中の保護者にとってリフレッシュの機会となりました。今後も振り返りを活かしながら、能登復興に高い意識を持ち、継続的な活動につなげていきます。



★「ほし☆たび」同窓会で 短大の思い出

2025年に開催した「ほし☆たび北海道・屋久島」から数か月が経った1月、旅を共にした仲間たちが再び集まり、「ほし☆たび同窓会」を開催しました。久しぶりの再会に当時の思い出話や近況報告が自然と飛び交い、あの旅の空気がよみがえるような時間となりました。今回は、参加者全員による「2分間のスピーチタイム」を設けて、旅の中でそれぞれが描いた「人生で目指してみたいゴール」を改めて思い出し、そこから今日までにどんな行動に着手したのか、逆にまだ取り組めていないことは何かを一人ずつ発表しました。

同窓会はただの再会の場ではなく、互いのチャレンジャーを称え合い、夢を再確認する時間にもなります。参加者にとっては仲間から刺激を受け、自分の夢の実現に向けた取り組みを加速させる大きなきっかけになったのではないのでしょうか。そして、今年「ほし☆たびKOREA2026」として目的地は韓国になります。8月末に就航します。



短 Sei-Tan Act!第4回
和食のテーブルマナー体験

12月16日(火)、Sei-Tan Act!第4回「和食のテーブルマナー体験」をホテル日航金沢の最上階レストラン「ラブラージュ」で開催し、17名が参加しました。今回は「和食」のテーブルマナーということで、就職先の食事を想定した基本的なマナーや美しい振る舞いについてホテルスタッフの方から教えていただきました。普段何気なく楽しんでいる食事にも様々な作法や歴史があるとの説明をうけ、正しい箸の使い方やグラスの持ち方、お椀を手取る際の持ち方や手順などを実際の食事シーンに沿って教わりました。最初は緊張した面持ちだった学生たちも徐々に表情がやわらぎ、美味しい料理に思わず笑みがこぼれていました。今後さまざまな方と食事をする機会が増える学生たちにとって、自信を持って食事会や会食に参加するためのマナーと、一緒に食事を楽しむ周囲への思いやりも学ぶことができました。



短 星短生就活スタート!

今年度も1年次を対象に「メンタイコ合宿」を実施しました。就職活動の本格期を迎える1年次35名に加え、就職活動を終えた2年次6名が先輩アドバイザーとして参加しました。学生たちは、合宿後に目指す姿や就職活動の目標を設定し、講座に臨み、実践を重ねる中で一人ひとりの成長が見られました。集団模擬面接では、先輩アドバイザーの模擬面接を参考にしながら、全員が真剣に取り組みました。互いによかった点やもっとよくなることを伝え合うことで、多くの気づきを得る機会となりました。



短 Sei-Tan Act!第5回
スノーボード体験

2月16日(月)、Sei-Tan Act!第5回「スノーボード体験」をIOX-AROSAで開催し、13名が参加しました。

参加者のほとんどがスノーボード初体験だったため、午前中はグループレッスンを実施し、インストラクターの先生から基本姿勢、転び方、起き上がり方、滑り方や方向転換などを教わりました。転倒しても笑顔いっぱいの子供たちは、何度でも立ち上がり、自分のペースで滑れるように練習しました!

昼食は皆でスノーパークグルメを堪能し、午後からは自由にゲレンデを滑走。ゴンドラに乗って中上級コースに挑戦する学生もいました。

雄大な景色を楽しみ、風を切ってゲレンデを滑走する解放感を全身で感じながら、ウインタースポーツを満喫することができました!



高 1年生Bコース
研修旅行に行きました！

12月3日(水)～5日(金)にかけて、研修旅行に行ってきました。六甲ガーデンテラスでの自然体感学習や神戸での班別研修、テーマパークでの活動、留学生との交流など、活動内容が盛りだくさんで充実した3日間となりました。クラスや班で協力しながら活動する中で絆が深まり、生徒たちの笑顔があふれる場面も多く見られました。今回の研修旅行で得た学びや経験を今後の学校生活にも生かしてほしいと思います。



高 1年生Pコース
研修旅行に行きました！

12月3日(水)～5日(金)にかけて、研修旅行に行ってきました。初日は淡路島に宿泊し、翌日大塚国際美術館で感性を磨きました。他のコースとの違いはノエビアスタジアムと甲子園に分かれた見学です。いつか自分がプレーしたい場所、憧れの場所に足を運んだ瞬間、目を輝かせながら夢を語っている姿が印象的でした。今回の研修旅行で得た学びや経験を今後の生活に生かしてほしいと思います。



高 1年生Aコース
関東方面へ研修旅行に行きました！

12月3日(水)～5日(金)にかけて、関東方面へ研修旅行に行きました。初日は東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学などを卒業生に案内してもらいました。2日目はデイズニアアカデミーによるキャリア講座を受講後、東京デイズニールランドへ行きました。最終日には国会議事堂の見学、浅草での自由散策を満喫しました。大学、職業、伝統や文化など多岐にわたる分野に触れ、研修旅行ならではの貴重な体験をすることができました。



高 1年生中高一貫理数コース
オーストラリア研修旅行に行きました！

11月28日(金)～12月6日(土)にかけて、研修旅行に行きました。オーストラリア特有の生物を扱う水族館SEA LIFEやシドニー動物園、名門シドニー大学を訪問しました。St. Patrick's Marist Collegeでは、現地の高校生の前で日本が誇る伝統文化を、また、このオセアニア社では探究の時間の活動報告を英語で行いました。海外留学の魅力を実感した研修旅行となりました。



高 1・2年生
体育大会を行いました

12月19日(金)、22日(月)に高校1・2年生は体育大会を行いました。クラス対抗で1年生はサッカー、バレーボール、ダンス発表、バスケットボール、2年生はサッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントンの競技を実施しました。どのクラスも団結力を発揮し、勝利を目指して頑張る選手たちに大きな声援を送っていました。天候にも恵まれ、笑顔あふれる2日間となりました。



高 第62回卒業証書授与式を
挙行しました

3月3日(火)、第62回卒業証書授与式が厳粛に執り行われ、516名が学舎から旅立ちました。式では、卒業証書授与ならびに日本私立中学高等学校連合会会長賞の表彰が行われました。続く学校長式辞や祝辞、送辞、答辞、卒業の歌の披露では、3年間にわたり紡いできた思い出と絆がよみがえり、参列者の胸に深い感動を刻む、あたたかな式典となりました。今後のご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げます。



高 1年生中高一貫理数コース
課外実習に行きました

3月18日(水)、高校1年生中高一貫理数コース28名が研究施設見学と企業訪問に出かけました。北陸先端科学技術大学院大学では、普段はなかなか見ることのできない施設を案内していただき、また、小松マテリア株式会社では、フアブリックラボラトリーを見学させていただきました。生徒たちは興味深い様子でお話に耳を傾け、将来の進路を考えるにあたって大いに参考になるよい体験となりました。



高 入学式を挙りました

4月8日(水)、第65回入学式を行いました。式では在校生を代表して生徒会長の大塚大雅さんが歓迎のことばを述べました。また、556名の新入生を代表して片桐滯さんが、臥薪嘗胆という言葉に胸にどんな苦しいことや辛いことがあっても乗り越えていきたいと意気込みを述べました。期待に胸を膨らませ、それぞれの夢や目標に向かって、高校生活の第一歩を踏み出しました。



中 生徒会主催
モルック大会を行いました！

2月6日(金)本校第一体育館にて生徒会主催のモルック大会を行いました。テーマは「学年の垣根を越えた交流」です。学年に関係なくチームを組み、作戦を話し合ったり、得点のたびにハイタッチをしたりと、笑顔あふれる大会となりました。普段あまり関わることのない仲間とも交流でき、生徒が一体となって盛り上がる企画になりました。



中 生徒会主催
挨拶運動を行いました！

2月16日(月)〜20日(金)、「挨拶のできる学校」を目標に挨拶運動を行いました。相手の目を見て自分から明るく挨拶することを心がけました。生徒玄関で始まった元気の挨拶が廊下や教室にも広がり、学校全体が前向きで温かな雰囲気になりました。日常の挨拶を大切にすることで、生徒同士や教職員とのつながりが深まります。今後も、気持ちのよい挨拶を通して、より良い学校づくりに取り組んでいきます。



中 第24回総合学習発表会(1日目1・2年生)を行いました！

3月6日(金)、第24回総合学習発表会(1日目1・2年生)を行いました。1年生は金沢星稜大学の講義室にて、サイエンスプログラムで1年間行ってきた研究について発表しました。2年生は稲置記念館にて、クラスごとに設定された発展途上国の問題点を探究し、問題解決のための事業内容を立案、発表しました。多くの生徒や保護者の方々の前で発表することに、緊張した様子も見られましたが、堂々と発表することができました。



中 第24回総合学習発表会(2日目3年生)を行いました！

3月9日(月)に稲置記念館にて、第24回総合学習発表会(2日目3年生)を行いました。進学コースは「地域貢献」をテーマに、各クラスの工夫が随所に見られる発表を行いました。論理的思考を問う問題などを楽しむ様子が見られました。一貫理数コースは班ごとに設定した興味深い研究テーマについて発表しました。世のため人のためになるようなテーマが多く、これまでの学びを十分に生かした内容となりました。



中 第51回卒業証書授与式を
挙りました

3月14日(土)、第51回卒業証書授与式を行い、92名の卒業生が巣立ちました。卒業証書授与に続き行われた表彰では、野球部が星稜スポーツ特別賞を、片桐澤さんが日本私立中学高等学校連合会会長賞を受賞しました。送辞は在校生代表の向慶士郎さんが、答辞は卒業生代表の大熊七翠さんが述べました。「手紙(拝啓十五の君へ)」や「旅立ちの日に」の歌声が響きわたった会場は、感動の涙に包まれるとともに、あたたかな雰囲気となりました。



中 第54回入学式を
挙りました

4月8日(水)、131名の新入生が緊張した面持ちの中にも、暗れやかな表情で式に臨みました。校長からは「誠実」と「自学自励」の精神で、大きく成長してほしい」との式辞があり、新入生は真剣に耳を傾けていました。続いて、在校生を代表して大沼美旺さんが歓迎のことばを、新入生を代表して多賀結人さんが力強く誓いのことばを述べました。新たな仲間とともに一歩を踏み出した新入生の今後の成長と活躍が期待されます。



中高 12月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

- 第78回 中部日本演劇大会
 - 生徒講評委員における研鑽の成果 ・安西 蒼司
- 第60回 石川県アンサンブルコンテスト
 - クラリネット五重奏 ・金賞(県代表)
 - サクソフォン六重奏 ・銀賞
 - フルート六重奏 ・銀賞
- 第49回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール
 - フルート部門 高校1年生の部 ・第5位 正水 沙弥
- 第10回 いしかわ吹奏楽コンクール新人戦
 - 銀賞
- 第49回 北陸アンサンブルコンテスト
 - クラリネット五重奏 ・銅賞
- 第38回 中部日本個人・重奏コンテスト本大会
 - 高等学校重奏の部 クラリネット五重奏 ・金賞

令和7年度 石川県高等学校総合体育大会

- アルペン競技 男子SL ・第1位 南田 陽祐
- アルペン競技 男子GSL ・第1位 南田 陽祐
- 男子アルペン総合 ・第1位
- スキー競技 男子総合 ・第2位

第38回石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- A重唱部門 ・銀賞 星稜高等学校A-1

令和7年度石川県高等学校総合体育大会

- 総合優秀校
- 女子優秀校

【星稜中学校】

第25回石川県中学生新人柔道大会

- 男子90kg超級 ・第2位 吉田 喜一

文部科学大臣杯第17回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSトーナメント

- ベスト8



☆みんなでおくと
おいしいな☆

食べることが大好きな子どもたち。今日のメニューはなんだろう！早く食べたいなあとわくわくしています。保育士がエプロンを付けて準備を始めると「次は私の番だ！」と急いでランチルームへ向かいます。手を洗って椅子に座ってエプロンを付けていただきます!!手でつかんだり、スプーンを手を持ち食べたいものを選んですくってパクリ!

左手もお皿を上手に支えておくことができるようになってきています。「上手にすくえたね。おいしいね!」と声をかけたり食べやすい大きさに切ったりする援助をしています。

ここに顔でもぐもぐ口を動かしながら自分で食べる喜びや楽しさを感じているようです。

大きくなったら楽しみなのはお弁当の日。登園してからすぐに食べたくなって待ちきれない様子です。友達と見せ合いっこしながらばくばくびつかりーん、お弁当箱がびかびかです。お家の方に作ってもらったお弁当は特別においしいですね。





☆入園おめでとう☆

4月7日(火)に入園式を行いました。少し緊張した表情で登園した子どもたちも式が終わるころにはリラックスした笑顔になり保育教諭の歌う「ちゅうりつぶや」「ばんだうさぎ」などの歌遊びに合わせて一緒に歌ったり体を揺らして楽しんでいました。各保育室の方では担任から「1年間よろしくお願いします」「明日も待ってるね」と挨拶があり、年長児が作った「一緒に遊ぼうね」の思いが詰まったペンダントのプレゼントとお饅頭のお土産を嬉しそうに受け取っていた子どもたちです。



☆進級うれしいな☆

【保育室の様子】
進級した新しい保育室で嬉しそうに遊んでいる子どもたちです。「このゲーム、面白いね」「これはどうやって遊ぶのかな？」などと話しながら遊んでいます。初めて遊ぶゲームや遊具に興味津々です。



【年少児 制服・体操服】

4月に進級した子どもたち。ピカピカのカバン、少し大きめの制服、新しい体操服。どれも子どもたちの進級をお祝いしているように輝いて見えます。年中・年長組のお兄さん、お姉さんと同じ制服や体操服姿がよく似合っていますね。



☆シュートで描く未来のアーチ！プロジェクト☆

3月12日(木)、三井住友信託銀行様より「バスケットボール5ヶ」【ゴール1基】を贈呈していただきました。年長児がボールを受け取り、ゴールは早速プレイルームに設置。新しいボールをリングにシュートして「入った〜」「残念〜 もう1回!!」と楽しんでます。



園児 野 幼 園 園児 野 幼 園
☆バスに乗って卒園遠足☆

3月2日(月)、年長児がトレインパーク白山へ出かけました。実際に走っている北陸新幹線や間近のドクターイエローを見て大興奮の子もたち。

「新幹線 学びと体感エリア」では北陸新幹線の仕組みを知ったり実際に車両部品を触ったりすることができました。新幹線に乗ったことがある経験を友達や保育者に伝えたり、興味津々で展示を見たりしていました。「子ども あそびエリア」では、力いっぱい体を動かして汗をたくさんかいて楽しめました。年長組の仲間たちと一緒に出かけするのもこれが最後。たっぷり遊んで、楽しい思い出になりました。



☆おおきくなったよ

1、2歳の子どもたち☆

子どもたちは、友達と遊ぶことが大好き！友達がしていることが気になって「自分もやってみようかな」と感じたり、遊んでいる友達に「まぜて」と話したりしています。時には気持ちがあぶつかることもあります。遊びも、ケンカも、友達と関わることが子どもたちひとつひとつの宝物♡4月からは進級してひとつ大きくなりました。これからは幼稚園で友達や先生と過ごす「楽しい！」を見つけれられるといいなと思います。



☆おいしい！

にんじんクッキング☆

毎日給食先生のおいしい給食を食べ、いろいろな野菜も食べられるようになってきた年少組が、にんじんクッキー作りを行いました。材料を混ぜたり、にんじんをつぶしたりする工程を皆で分担して、にんじんの香りを感じながら生地作りをしました。好きな形に型抜きをし、給食先生にクッキーを焼いてもらおうと、いい匂いがふんわり。自分で作ったにんじんクッキーは格別で「おいしい!!」「おかわり！」と味わっていました。



☆バスケットボール&

ゴールをいただきました☆

3月12日(木)、たくさんの子どもたちにバスケットボールに触れる機会を作り、楽しさを知り興味を持ってもらうための「シュートで描く未来のアーチプロジェクト」として、三井住友信託銀行よりバスケットボール5個とゴール1基を贈呈していただきました。ドリブルを披露したりボールをゴールにシュートしてみたりし、シュートが決まると「やったー！」と盛り上がっていました。



☆リニューアル

おめでとう♪☆

幼稚園の近くにある泉野第5児童公園が再整備され、完成を記念したセレモニーに年中・年長児が参加しました。「こうえんにいきましょう」を元気に歌い、「これからもたくさん遊びに行くね」とメッセージを伝えました。

新しい遊具で友達と仲良く遊び、笑顔いっぱいになりました。「また来ようね」と喜んでいた子どもたちです。



2025年度CDP受講生現役合格121名!!

※2026年3月1日現在。人数は現役大学生・短大生の実数（既卒者は含んでいません）

- 公務員（大学生）48名 ■小学校教員45名 ■税理士科目合格10名
- 公務員（短大生）14名 ■中・高（保健体育・商業）教員4名

※公務員（大学生）は、特殊法人・外部団体の合格者3名を含んでいます。



累計合格者数1,406名（実数）

- 公務員763名
(短大・保育士含む)
- 教員580名
(現役・既卒)
- 税理士63名
(科目合格)

※公務員合格者は2008年度～2025年度の実績（現役生のみ）

※教員合格者は2010年度～2025年度の実績（既卒者含む）

※税理士科目試験合格者の実績は2008年度～2025年度の実績（現役生のみ）

エクステンション資格講座は、 本学園の卒業生・教職員・保護者の方もご利用いただけます。

2026年度エクステンション資格講座ガイドが完成しました。

資格取得やスキルアップを目指す方向けに開講しているエクステンション講座は、学生を中心に卒業生や保護者の方にもご利用いただいています。WEB資格講座をはじめとするオンデマンド講座やハイブリッド講座など「新しい学習環境」の提供をしています。

【エクステンション講座ホームページ】

<https://ssl.smart-academy.net/seiryo/>



【WEB資格講座で25種類の資格にチャレンジ】

WEB資格講座は、パソコン、会計、法律、ビジネスなど25種類の資格講座を「定額で」「1年間」「いつでもどこでも」受講することができることから、ご好評いただいております。毎月募集を行っています。

〈受講対象者〉学生（本学園の大学・大学院・短大部・高校等の在学学生）、本学園の卒業生・教職員・保護者等

〈受講期間〉受講開始より1年間 ※全25講座を1年間学び放題

〈受講料〉11,000円（テキストは別途購入）

〈申込締切〉毎月20日締切（20日が土日祝日の場合は、金曜日を締切日とします。）

【エクステンション2026資格講座】

〈申込方法〉締切日までに受講申込書の提出と受講料の支払いをしてください。（学生以外の方の受講料は郵便局で払い込みとなります。）

WEB資格講座の詳細は、ホームページでご確認ください。

【WEB資格講座ホームページ】

<http://shikaku-web.net/web/>



中学2年で英検の最難関である1級を取得し、
海の問題を考えるブランドを立ち上げ、
各方面から注目されている
星稜中学校3年の大沼美旺さんにお話を伺いました。

Q1 英検1級に中学2年で合格されています。英語力をどのように磨いてこられましたか？

※英語検定1級は、大学の上級者レベルであり、英字新聞や英字専門誌を理解できる語学力を備えていると言われてます

幼い頃からよく英語の教育番組を見たり、曲を聴いたりしていました。小学1~2年の時はドイツのインターナショナルスクールで学び、様々な国の人と交流を深め、自分の視野を広げ、物事を多角的に見る力もつきました。星稜中学では、英会話の先生方と英語で日常的に会話するよう心掛け、時事ネタも議論することで語彙力を向上させられました。

Q2 海の問題を考えるブランド「Marivita (マリーヴィータ)」の活動がテレビや新聞でも取り上げられ、話題となっています。ブランドに込めた思いから聞かせてください。

「Mari」はラテン語で海、「vita」は生命を表し、「海の捨てられてしまうものに新たな輝きを与えること」をコンセプトとしています。廃棄される魚の皮を加工したフィッシュレザーと漁網を使用した名刺入れを製作し、受注販売に向けて準備中です。

Q3 そもそも大沼さんが環境問題に興味を持つようになったきっかけは？

モノに恵まれていない時代を知っている祖父の存在が大きいです。微生物の力で生ゴミを肥料に変えるコンポストを活用した祖父の持続可能な暮らし方に影響を受け、環境問題に関心を持つようになりました。小学6年の時に金沢未来のまち創造館(金沢市野町)のプログラムに参加し、身近な視点から社会課題の解決策を自分なりに考えるようになっていきました。



Q4 中高一貫校の星稜を選んでよかったところは？

「受験のための勉強」ではなく、より長期的な視点で物事を考えられるところが一番の魅力です。プログラムも充実していて、自分の興味・関心のあることを研究したり、より楽しんで日々学習したりできています。課外活動では中高合同の科学部で活動しており、多様な人との接点を持つことで成長を実感しています。

Q5 今後の目標を教えてください。

世界で通用する英語力を身にけるためTOEFLやIELTSの検定試験にも取り組んでみたいと思っています。将来の夢はやりたいことがたくさんあるので、まだ具体的には決めかねています。それでも医学・研究機関・国際機構・起業など、社会に役立ち貢献できるような分野で力を発揮できればと考えています。

総合研究所 SDGs産学地域連携センターだより

総合研究所

「2025年度研究成果報告会」を開催しました！

3月19日(木)、本学において2025年度の研究成果報告会を開催しました。6件の共同研究、4件のプロジェクト研究所の代表者及び1件の学術研究研修の研究者が1年間の活動の成果についての報告を行いました。報告会では、それぞれの研究に携わる研究者や学部の垣根を超えた教員による時宜を得た質問を通じて、意見交換が行われました。新広昭副学長(現在は特任教授)は各研究の報告を受け、「教員は研究することが本務であり、その成果を学生に還元する役割がある。また、研究は価値を生み出す源泉であるのでそれを進めていただきたい。」と感想を述べました。



共同研究

- ・ステークホルダーエンゲージメントの変化が統合報告の開示内容に与える影響
代表研究者 梅田充(経済学部准教授)
- ・教職志望学生のライフコース分析
—リフレクションを基盤とした勤務付けの分析から学生支援の在り方を探る—
代表研究者 芥川元高(人間科学部准教授)※現在は教員
- ・高齢者の移動と文化—移動を巡るライフスタイルと社会関係の変化—
代表研究者 齋藤千恵(人文学部教授)
- ・Arts-Based-Researchを共通基盤とし、非芸術系大学における科目にアート作品の制作を取り入れるための学際的研究
—「展示」過程に組み入れた授業モデルの開発に焦点を当てて—
代表研究者 寺嶋隆彦(教養教育部准教授)
発表 門前斐紀(教養教育部講師)
- ・大学教育におけるICT利用の可能性について
:アバター利用による対話の特徴
代表研究者 永井孝行(教養教育部教授)
- ・マンガとゲームの表現と内容伝達手法の比較分析
—ユーザーの内容理解の過程を基にしたよりよい教材作成を目指して—
代表研究者 二口聡(教養教育部准教授)

プロジェクト研究所

- ・親子間の文化を通じた嗜好の伝達についての実証研究
経済と文化のミネル実証分析研究所(3年目)
代表研究者 石野卓也(経済学部教授)
- ・指定管理者制度のインタングブルズ・マネジメント
指定管理者制度マネジメント研究所(1年目)
代表研究者 鈴木理彦(経済学部准教授)
- ・生物にとつての睡眠と意識の関係
—自然科学的アプローチと人文的アプローチに基づく学際的な観点から—
睡眠をめぐる学際的研究所(1年目)
代表研究者 塩田耕平(人間科学部准教授)
- ・河北潟地域の自然共生マスタープラン策定に関する実証的研究
河北潟地域の自然共生マスタープラン研究所(3年目)
代表研究者 永坂正夫(人間科学部教授)

プロジェクト研究所

- ・地域スポーツ組織の持続可能なマネジメント
—スポーツクラブマネジャーの成長・育成・世代交代—
西村貴之(人間科学部教授)

SDGs産学地域連携センター

「2025年度課題解決型
共創インターンシップ
報告会」を開催しました

2月24日(火)に、経済学部の5つのゼミナールが「いしかわ共創インターンシップ」での取り組みの報告を合同で行う「2025年度課題解決型共創インターンシップ報告会」を開催しました。
今年(2025年)度は「佐藤ゼミナール」「土屋ゼミナール」「野林ゼミナール」「神崎ゼミナール」「村上ゼミナール」が「石川県中小企業家同友会」に所属する県内企業5社とタッグを組みました。会場には、パートナー企業の関係者のほか、「石川県中小企業家同友会」の会員である他の企業関係者も駆けつけ、それぞれの成果を見届けました。
「石川県中小企業家同友会」の代表・絹川善隆様よりご挨拶をいただきました。
各ゼミナールの報告はホームページでご覧いただけます。



総合研究所



SDGs産学
地域連携センター

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL:076-253-3924(代表)
(大学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校
石川県金沢市小丸町南20番地
TEL:076-252-2237(代表)
<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
石川県金沢市御所町東27番地
TEL:076-252-5057(代表)
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL:076-244-5636(代表)
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/>

バックナンバーを、
ホームページにて公開しています。
<https://www.seiryu.jp/magazine/>

